

2021年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人ココロミクラフティ

代表者・役職名 氏名 代表理事 本間 征二

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 申請事業の名称

冬でも安心あったかストーブ設置事業

2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2018年3月に開所して、開所当初から12名定員で事業をおこなっております。働いている方々は元々他の自立援助ホームに勤務しており、その経験等を活かせることと、元々地域の社会的養護の課題に向き合い、必要な児童の支援に当たっていきたく感じておりました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

現在当ホームでは、4カ所(脱衣場、娯楽室、乾燥室、一時保護室)のストーブが、電気ストーブ又はポータブルストーブで対応しております。これは、大家さんから家賃を安くするかわりに、設備は法人が直すという契約であり、予算に余裕がない為、児童の居室以外は、間に合わせにしてきたことからなっております。しかし、昨年度からの災害、特に地震で危険が生じるとのことで、電気ストーブの見直しも視野に入れてきましたが、未だ変えられていない現状があります。今年度は、知的障がいの児童が多く入居し、操作・給油手順を指導している最中でもあります。児童が多くなるほど職員の負担も多くなってきます。また、住人会議の中では、もっと暖かいストーブがあったら良いのにと意見もありました。このことにより、来年度には、4カ所のストーブの入れ替えをしたいと考え、今回申請をさせて頂きました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

2021年11月までに、自立援助ホームkcカラムの脱衣場、娯楽室、乾燥室、一時保護室のストーブを灯油FF式ストーブに入れ替え、快適な生活や活動ができるように進めていきたいと考えております。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

7月現在では、当施設のある釧路は、朝晩はストーブが必要であり、今回の助成により、設置したことにより、職員の給油の手間が省け、他業務にあたる事ができています。また、ポータブルストーブの操作等に不安のあった児童も温度設定等で安心して使用できるようになりました。いつ地震等による被害があるかわからない地区ともなっておりますので、防災面での充実も図れました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

今回4台の入れ替えが完了しましたが、消耗品のため、他にも壊れる可能性はあります。今後については、設備の積み立てもしていこうと思っておりますが、制度的に充実していけるように、訴え続け、児童が安心して過ごせる場所を確保していこうと思っております。









Product information label on the top left of the unit, including a QR code and technical specifications.

Technical specifications label on the top center of the unit.

奥如苑助成, 2021